



自分の未来を切り開く年に

いよいよ義務教育の最終学年を迎えました。この一年は、学校のリーダーとして期待される一方、自分自身の進路を決定するという、大切な年です。中学校最後の年を充実した日々にするために、学習、部活動、生徒会活動などに一生懸命に取り組んでください。

そして、来春にはそれぞれが希望に満ちた新しい生活に進んでいってくれることを期待しています。



「さくら」

仰木中学校を象徴する花であり、日本に暮らしていると、とてもなじみ深く親しみのある花です。入学した年には、外のステージに一人一人が描いてくれた花でもありますね。サクラの中でも有名なソメイヨシノは、葉が芽吹く前にいっせいに花を咲かせます。その見応えのある姿から、お花見を楽しんだことがある人も多いのではないのでしょうか。そんなサクラは、ただ春が来たからといって花を咲かせているわけではありません。春から夏にかけ、たくさんの葉を茂らせ、太陽を浴び、毛虫の食害にも負けず、エネルギーをため込みます。そして、秋には休眠期を迎え、寒い冬をじっと耐え、その寒さを目覚めのきっかけとして満開の花を咲かせます。すごしやすい気候だけでは、花を咲かせることはできないのです。

人間も、きっと一緒なのではないのでしょうか。進路決定はけして楽なものではありません。エネルギーをため、不安なことや心配なことに耐えて、たくさん悩み考えて、初めて自分の道を拓くことができます。みなさんも、花開くまでの過程に待ち受けるあらゆる辛さに負けないで、自分らしい花を咲かせることができるように。そんな願いを込めて、進路通信のタイトルを「さくら」としました。

進路通信について

自分にふさわしい進路を決定するためには、『自分の特徴を知ること』、『上級学校の情報を集めること』が大切です。この「さくら」には高校や教育委員会からなど進路に関する情報が掲載されます。しっかりと活用してください。「知らなかった」「忘れていた」では、取り返しのつかないこともあります。進路に関する通信や文書は下の①～③のようにしていきます。

- ① 必ず、自分でしっかりと読む。
- ② 必要に応じて、お家の人や担任の先生に相談する。
- ③ 大切な内容はカレンダーなどにも書いておき、忘れないようにする。

今やるべきことは・・・？

将来の自分の姿を思い浮かべながら、次のことを考えてみてください。

- ①今から10年後、自分はどんな生活をしているの？20年後は？
- ②そのためにはどんなコースでそこまでたどり着くの？
- ③最初の進路選択となる来年の春、どんな選択をするの？
- ④だから **今** はどのような生活をすればいいの？



具体的にに取り組むことは次の4つ。



○授業を集中して受ける

まずは、先生の話をしっかり聴くこと、わからないことは質問すること。50分授業×6時間＝300分をぼーっとしていたら3年生失格。それだけの時間、家ではなかなか勉強できませんよ。授業中に理解する、覚える、できるようになることを目標に。

○家庭学習の課題、提出物をしっかりやって期限内に提出する

家庭学習の課題は力をつけるために出されます。また意欲があるかという評価の対象になります。1，2年生でできていなかった人は特に注意！！今年こそは確実にやり切ろう！

○家庭学習を計画的に毎日行う

新研究などを使って、長期的な見通しを持って勉強を進めること。いきあたりばったりでは3年間の復習を効率よくやることは不可能です。時間がないときでもすきま時間を利用して、毎日勉強する習慣をつけましょう。ちなみに、来年の滋賀県の公立高校の一般入試までは約320日。1日1時間の勉強で、320時間。2時間、3時間…だと…。いかに、時間が限られているかわかりますね。

○体調管理をする

何をするにも体が元気でなくてはなりません。規則正しい生活をしましょう。食事、睡眠をきちんと取ることが基本。

4月15日（火）は第1回の実力テスト！

まだあまり勉強できていない人は、まず、机に向かって勉強を始めることです。自分が動き出さないと何も始まりません。今からでも、①「欲ばらずにポイントをしばって覚える」、②「過去の定期テストなどの問題にしばってやってみる」ことが効果的です。